

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

スクール・ミッション

鹿屋市にある農業系単科の専門高校として、農業教育の幅広い分野を網羅し、高い専門性を確保するとともに、歴史や伝統を継承しつつ、時代及び社会の変化や要請に対応できる能力を養成し、農業が基盤産業である大隅地域の特性を生かしながら、地域社会の発展に貢献できる人材を養成する学科を目指す。

スクール・ポリシー

農業科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

農業は「命をつなぐ産業」であるということを理解し、持続的で安心・安全な食料生産を実践しながら、観察力や思考力を高めるとともに、責任ある行動を身につけます。さらに、自己を尊重しつつ他者を敬い、生命を尊重する態度を育てることで協働と自己研鑽できる人材を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 野菜及び作物に関する専門科目の充実とプロジェクト学習を積極的に行います。
- ・ 安心・安全で持続的な食料生産及び供給につなげるための学習を推進します。
- ・ 地域連携や時代のニーズに対応した先進的な取組を積極的に行います。
- ・ 経営感覚の育成などマーケティングに関する学習内容の充実を図ります。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 農業科での学習を十分に理解し、農業に対する高い興味・関心がある生徒
- ・ 協調性があり、積極的に行動するとともに学習意欲がある生徒
- ・ 将来、農業従事者または農業関連産業従事者として活躍する等の目標がある生徒

園芸科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

園芸の基礎を理解し、実習を通じて他者と協働することで、互いの個性や人格を尊重し、共に研鑽し合うことの大切さを学びます。また、学んだ知識や技術を実際に活用でき、施設園芸の知識や栽培技術など時代の変化に応じた最新の学びを通して、将来、地域社会の先進的な担い手となる人材育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 専門教育の充実を図るため、2年次より専攻学習(施設野菜,草花,果樹)を行います。
- ・ 地域と連携した授業を積極的に取り入れることで、学習を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を目指します。
- ・ 多様な進路を実現するために、選択授業、資格取得のための補習、個別指導などを実施します。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 園芸科の学習内容を理解し、自己実現のため主体的に学ぶ姿勢と意欲を持つ生徒
- ・ 他者を思いやり、共に深化・成長することを目指すことができる生徒
- ・ 特別活動（部活動、農業クラブ、生徒会活動など）に積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと考えている生徒

畜産科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

家畜の飼育管理と学習とを関連づけ、基礎技術の確実な習得を目指すことで実践的な思考や判断のできる人材の育成を図ります。また、本県有数の畜産地帯に位置する農業高校として、地域や関連団体との連携に積極的に取り組み、コミュニケーション能力や研究活動に積極的に取り組む態度を育成します。さらに、経済家畜を取り扱う観点から、命の大切さと尊厳、感謝の気持ちを養います。将来は畜産経営者及び農業理解者として地域に貢献する人材育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 2年次より4つの専攻（養鶏・養豚・酪農・肉用牛）に分かれて学習します。
- ・ 先進的な農業経営の体験につなげるための学習の充実を図ります。
- ・ より良い畜産経営を目指し、様々な課題に挑戦するプロジェクト学習を推進します。
- ・ 他団体、組織、地域と連携をすることで、学習効果の向上と早期の進路目標の設定につなげます。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 畜産科の学習内容を理解し、主体的に学ぶ意欲がある生徒
- ・ 家畜の管理を行うことから、協調性ととともに責任感がある生徒
- ・ 謙虚な姿勢とともに積極的にコミュニケーションを図ろうと努力する生徒
- ・ 課題意識を持って自ら問題解決のために努力する生徒

農業機械科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

農業機械の学習全般において、現在の農業や未来の農業について多角的な視点を持てる生徒を育てます。また、旋盤や溶接などの実習を通して、自分自身の特性や適性を理解し、能力を活かせる生徒を育てます。また、昨今のスマート農業に代表される最新の農業機械や設備について体験したり見学したりすることで、学習した知識や技術を基に創造する力を養い、将来の農業を支える人材を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 習得した専門知識と実技とを関連づけた実習を行い、体験を通して専門的な学習内容の理解を深めることができます。
- ・ 外部講師による指導やインターンシップを充実させることで、明確な進路目標の設定につなげることができます。
- ・ 様々な技能習得に挑戦することで、チャレンジ精神や向上心を育むことができます。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 学科の特性を十分に理解し、農業機械科で学びたいという明確な意思を持った生徒
- ・ クラブ活動や生徒会などの交流活動や発表会、競技会に積極的に挑戦し、自分自身の資質を伸ばそうとする生徒
- ・ 自分自身を理解し、夢や希望を持っている生徒

農林環境科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

林業，農業土木，造園について，専門知識や技術を身に付けるとともに，実践的・体験的な活動を通して，学習内容を体系的・系統的に理解することで，合理的かつ創造的に問題を解決する能力を育成します。特に林業をはじめとする産業の振興と地域貢献に主体的かつ協働的に取り組むことで，職業人として必要とされる豊かな人間性を育み，林産業や土木，造園業の発展に寄与する人材を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 2年次より森林科学コースと緑地土木コースの2コースに分かれて，知識とともに実習や高度熟練技能者による指導（講習会）などを通して，専門的な知識や高い技術を習得し，地域と連携した体験活動やインターンシップなどの実践的・体験的な活動により，社会観や産業人としての能力を身に付けます。
- ・ 生徒一人一人の進学や就職（公務員を含む）の進路実現のために，基礎・基本から専門的な知識や技能まで身に付けた人材を育成します。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 農林環境科の学習内容を理解し，主体的に学ぶ意欲がある生徒
- ・ 地域の課題解決に向けて意欲的に学習に取り組み，貢献できる生徒
- ・ 庭園や造園空間に興味・関心を持ち，都市緑化などに貢献できる生徒
- ・ 農村と地域環境保全のために，農業土木技術者として貢献できる生徒

食と生活科

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「農業のその先へ」，「食べることは生きること。」をスローガンに，農産物の生産・加工・販売（6次産業化）や衣食住・保育などの家庭生活全般について，農業分野と家庭分野をバランス良く学び，生活を美しく創造する力を身につけるとともに，時代や環境の変化に主体的に対応できる資質・能力を育成します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- ・ 食に関する専門性を，農業や家庭など多様なアプローチで習得します。
- ・ 衣食住や保育など生活全般について正しく理解し，行動できる実践的な態度を身に付けます。
- ・ 栽培から加工，流通，販売にいたる6次産業化の一連の流れを体系的に学び，HACCPに基づく衛生管理などの専門知識を身に付けます。

アドミッション・ポリシー（入学受け入れに関する方針）

- ・ 食と生活科の学習内容を十分に理解し，主体的に学ぶ意欲がある生徒
- ・ 6次産業化について理解し，地域社会の発展に貢献しようとする生徒
- ・ 衣食住・保育などの家庭生活全般について，興味・関心を持ち，より良い生活環境の創造を目指そうとする生徒